

絵はがきを頒布します

定光寺町水野金光さんに描いていただいたほのぼのとした掛川マップのスケッチ画をもとに絵はがきを作成し、希望者に頒布します。

この「やまびこ 22 号」発行と同時に注文用紙と絵はがきリストを全戸配布します。注文用紙に必要事項を記入の上、担当者（注文用紙に記載してあります）までお申し込みください。締め切り日はとくに設けません。随時受け付けます。

絵はがき頒布は営利を目的としたものではありません。原価に近い価格で皆さんにお分けするものです。注文をとったのち、事務局のプリンターで印刷しますので、お手もとに届くまで少々の時間がかかることをご了解ください。なお、当初は 5 枚一組で頒布する予定でしたが、注文は 1 枚単位でもいいことにしました。価格は 1 枚 40 円です。

この絵はがきを使って、知人・友人、親戚の方々にお便りを出していただき、掛川の良さを発信していただけたらと思います。

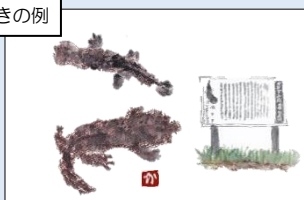


牛臥山と下半田川集落



半ノ木の里

絵はがきの例



蛇ヶ洞川のオオサンショウウオ



定光寺直入橋

ラジオサンキューの番組「せとまちラジオ」で収録 掛川地域の安全と安心

5 月 17 日（水）、下半田川町民会館でラジオサンキューの番組収録が行われました。出演したのは掛川地域力向上委員会子育て支援グループの高村洋子さんと水野貴久枝さん。

「掛川地域の安全と安心」のテーマで、おもに子どもの見守り活動とかけがわっ子ひろ

ばの運営について、大いに語ってもらいました。5 月 20 日（土）と 6 月 3 日（土）に放送されましたが、ラジオサンキューのホームページ内にある「せとまちラジオ」の欄に音声ブログとして掲載されているのでいつでも聴くことができます。



収録の様子

学習田で「泥リンピック」と「田植え」がおこなわれました

5月18日（木）好天の中、掛川小学校の学習田で、代掻きを兼ねた恒例の泥リンピックが行われました。綱引き、輪



くぐり、旗取りなどの競技を泥んこになりながら楽しんでいました。



雨のために延び延びになっていた田植えが5月29日（月）に行われました。

高学年の子はさすが慣れた手つきで植えていました。1年生も初めてとはいえ



泥だらけになりながらも楽しそうに、そして上手に植えていました。



お茶会がありました

6月17日（土）掛川小学校恒例のお茶会が保護者、地域の皆さんを招待して行われました。毎年お茶会を指導に来ていただいている巖島さんは、「年々、子供たちが上手になってきています。参加していただいている地域の皆さんに感謝しています。」と語り、盛況を喜んでみえました。

余談ですが、毎年出るおまんじゅうが楽しみです。今年はひまわりでした。



廃品回収と環境整備

6月4日（日）、掛川小学校で廃品回収がありました。早朝よりPTAや児童のほか、地域力向上委員会・自治会も協力してたくさんの廃品を回収することができました。



その後、校庭の周りや通学路、学習田付近の草刈り作業に取り組み、1時間ほどで校舎周辺が見違えるようにさっぱりしました。

水彩画写生会

5月21日（日）、下半田川町に水彩画のグループが大型バスでやってきました。グループの名前は「かこう会」といい、近くは名古屋、遠くは奈良からの参加がありました。総勢56名の方々の写生会でした。

午前10時ころから町内の思い思いの場所にちらばり、民家や風景を水彩で描いていました。午後からは下半田川町民会館脇のふれあいホールで作品発表会がもたれ、地元の人たちもその様子を自由に見ることができました。参加した皆さんに掛川マップを進呈したところ、大変喜ばれました。

会の代表者の話では今年の11月には定光寺町で写生会をもちたいとのことでした。



作品発表会

地域のゴミ拾い

5月27日（日）、第1回目のゴミ拾い作業が幹線道路沿いを中心に行われました。

両町合わせて62名の皆さんが協力いただきました。お疲れ様でした。



町民会館から見た前田家 参加者の作品

ふるさと探訪ウォーキング

野には卯の花、空ではホトトギスの鳴き声、まさに初夏真ただ中の6月3日(日)、ふるさと探訪ウォーキングを下半田川町で行いました。掛川マップができたのを機会に掛川公民館との共催で実施した事業です。

参加者は27名。名古屋市や春日井市からの参加者に加え、日ごろから地域力向上委員会がお世話になっている瀬戸市地域活動支援室からも参加いただきました。

下半田川町民会館にある「曙光礼讃の碑」の説明の後、9時出発。マップを片手に平安の昔から伝わる観音堂の十一面観音・阿弥陀如来を拝観し、八劔社、分教場跡、いしょう寺跡、富士宮社、妻神社、馬頭観音と8か所を2時間半かけて見て回りました。

参加者からは「地元にもこんなところがあったとは知らなかった」とか、「話には聞いていたが初めて訪れた」とかの感想があり、また次回参加したいとの声が聞かれました。



平安時代の十一面観音像、阿弥陀如来像



富士宮社

第2回目は12月2日(土)、コミバス定光寺町東バス停集合。おもに半ノ木集落、掛川小学校創設の地などを見て歩き、午前11時30分ころ解散の予定です。

引き取ります/差し上げます

やまびこ21号で、『使えなくなったインクカートリッジが残っている方はいませんか？使い道のなくなったインクカートリッジを事務局で引き取り、ほしい方に無償で差し上げます。』と呼びかけたところ、引き取ってほしい方、貰いたい方がそれぞれ複数ありました。

CANON 純正品 PIXSUS 320/321 および

CANON 純正品 PIXSUS 325/326 はすぐ貰い手があり、差し上げました。

今後は月末でいったん申し込みを締め切り、複数の申し込みがあったものについては抽選の上お渡しすることにします。

現在、事務局に寄せられているインクカートリッジ

- ① EPSON 純正品 Colorio 21 2セット
- ② EPSON 純正品 Colorio 50
- ③ CANON 純正品 PIXSUS 7e/9、3e(BK)
- ④ CANON 互換品 BCL-3e(イエロー)



ふるさと自然だより /アザミの変わりもの

ノアザミ（野薊）は初夏に紅紫色の美しい花が咲く野草です。下半田川町内の方から珍しいアザミがあると知らせてもらいました。



普通のノアザミ

花茎の幅が約 10 cm の板状になり、茎の先端は多数の花がくっついて横に並んでいました。これは茎の先端にある生長点の異常によって起きた「帯化（石化）」という現象です。ケイトウ（鶏頭）は花の帯化によってできた園芸品種です。

以前に近所で白い花のノアザミを見ました。突然変異によって花の色素がでなかったのが白い花になったものです。赤い花や青色系統の花の植物で稀に白い花が咲きます。

気になる花を見た時や、花の名前を知りたい時には、遠慮なく広報部員（富田幹夫または富田彪）に尋ねてください。



白花ノアザミ



帯化したノアザミ



帯化して茎が幅広になったノアザミ

クイズ ちょっと考えて

応募締め切り 平成 29 年 7 月 31 日

左にある文字を使って二字熟語を作ってください。（例 原・今・頁・心 ⇒ 念願）
ちょっと頭をひねって考えてね。

1、 口・人・寸・本（ヒント 集まり？） ⇒ 答え1

2、 角・王・土・刀・牛・日（ヒント わかる？） ⇒ 答え2

3、 口・木・言・西・示・五（ヒント 募集します） ⇒ 答え3

4、 日・日・門・土・寸（ヒント 金なり？） ⇒ 答え4

5、 立・七・木・刀・見（ヒント 思いやり） ⇒ 答え5

左の解答欄を「コピー」して応募してもいいです。

住所・氏名を記入し、「やまびこ」に対する感想・要望などを添えてご応募ください。
全問正解者にすてきな景品をプレゼントします。正解者多数の場合は抽選です。

応募資格：「やまびこ」を愛読してくださっている方

応募先：事務局へ FAX または、持参してください。TEL・FAX 0561-48-6165

会員の声
「住めば都」

定光寺町 春田のぶ子

春田のぶ子さんは、定光寺町に住まれて三十数年。自然に親しみながら、スローライフを楽しんでみえます。また、地域活動にもいろいろ参加いただいています。

「定光寺、へえ～あそこって瀬戸市なの？」といぶかる人が、ほとんどです。JR中央線定光寺駅の所在地は春日井市であり、日常の買い物もほとんどが春日井市のスーパーです。車で五分走れば岐阜県多治見市、孫たちのお気に入りのファミレスも県外へでかけます。ここにはスーパーもコンビニもありません。家から駅まで1.2キロメートルの下り坂、歩道はレンガ作りですが、地盤の沈下で所々がデコボコになっており、うっかりするとつまずきかねません。そこから七十段の石段を登りやっとホームにたどり着いても三十分一本の各駅停車の列車しか止まりません。街へ出て遊び疲れて帰れば標高100メートルに位置した我が家まではずうっと上り坂ばかりです。

南が開けている居間からは、田圃の苗が風にそよぎ、草の緑、近くの小高い山々の緑のグラデーション。緑だけでもこんなに多いと改めて感じます。ウグイスのきれいな声で春を知り、居ながらにしてソメイヨシノ、しだれ桜、八重桜を順に眺めることができます。四季それぞれの自然はずっと変わらず、友の会の何人かは家を訪れてくださり、別棟のお勝手に入り土間とタイルの流しや竈を見て「在所に来たみたい」。と言って喜んでもらえます。三十年で隣組に若い夫婦が家を建て、子供も二人増えました。毎月第四日曜日にはバードウォッチングの人たちが家の前を通り過ぎていきます。

時々、名古屋へ出かけますが、以前見

て通った景色が変わっていることが多く街は動いているんだなあ～、変化しているんだなあ～と強く思います。

この町には定期バスもなく、瀬戸市の運営するコミュニティーバスが二日に一度、朝、昼、夕にあるだけです。民家は百二十軒ほど、そのうち七十五歳以上が九十人、私もそのうちの一人、あるとき家の前を悠々とサルが歩いていたこともあり、愛岐道路から車で家の近くまで来た曲がりかどで「あっ！リス」と思った瞬間ふんわりした尻尾を後にしてどこかに消えました。夫が隣の人と何やら話していますが「イノシシに作物を食い荒らされた。町内の誰々さんちの畑の罫にイノシシが親子で三匹もかかっていた」などという話にはいとまがありません。二・三日前、夫が県道で血の塊を見たといい、それも二か所、知人宅で「夜の間にイノシシが二匹、車に跳ねられた」と聞きました。家でも去年はもうすぐ収穫出来そうなサツマイモ畑を斜めに食い荒らされた苦い経験があり、今年は金網でしっかり防御しました。アライグマ、ハクビシンなどの動物たちも町内の生き物です。

町内挙げてのお祭りや盆踊りは、地域の宝である子ども会・老人会で盛り上げます。駐在さんも、お寺の和尚さんもみんな顔見知り。「住めば都」です。

